

関西電力株式会社社長  
藤 洋作 様

# 原子炉容器上蓋問題に関する質問及び資料請求

若狭連帯行動ネットワーク

貴社地域共生・広報室との12月6日の交渉時に私たちの出した質問及び資料請求に対して文書での提出を求められましたので、以下の通り提出いたします。つきましては、2週間以内に御回答下さるよう強く要請いたします。なお、経済産業省からは文書回答をすでに二度受け取っており、貴社も透明性を確保し公益事業者としての説明責任を果たすため、文書で御回答下さるよう強く要請いたします。

1. ホームページに掲載された原子炉容器上蓋に関する資料(以下「HP資料」)における「(1)上蓋取替プラント」の「b. 検査実績とSCC発生予測」における「運開からのSCC発生予測時間」の予測式をパラメータの値を含めて公開して下さい。この発生予測時間には進展時間が含まれていると判断して良いのですか?

インコネル600製管台でのSCCの進展速度は約2mm/年だという説明でしたが、それを裏付ける実験データを示して下さい。フランスでは約4mm/年と評価されているのに、なぜ、貴社ではその半分しか進展しないのですか? 進展速度の予測式をパラメータとともに示して下さい。

2. HP資料における「A-1. 渦流探傷検査(ECT)(b)傷の検出性」の「深さ3mm以上であれば検出できると考えています」というのは何%の確率でできるのですか? 傷の長さには関係なく検出できるのですか? また、実験データに基づいて、SCCの傷の特質をどのように考慮し、肉厚の違いをどのように考慮して「深さ3mm以上であれば検出できると考え」たのですか、その根拠となったデータと考え方を説明して下さい。

HP資料には「出典: プラントメーカー資料」と記載されていますが、その資料を公開して下さい。

NRCによる蒸気発生器細管のECT検査の検出性能試験(NUREG/CR5117)によれば肉厚の20~30%の深さの人工傷ではじめて検出可能になりますが、60%の傷でも検出できない場合があります。これと同じ程度の検出性能ではないのですか?

3. ECTでは軸方向の傷と周方向の傷のいずれに対しても同程度の検出性能だと説明されましたが、それを裏付ける実験データを示して下さい。

4. 「ECTでは傷の有無を検出できるだけで深さや長さを検出することはできない」との説明でしたが、傷が発見されたときに貴社が適用を検討しているHP資料の「B. 判定基準」では傷の深さや長さに関する正確な情報が必要です。これらをどのように得るのですか? UTで深さや長さを正確に測定できるという根拠となるデータを示して下さい。

5. HP資料の「B. 判定基準」では、ひび割れた管台に対する動的な地震動による応答速度・応力の

解析は行われておらず、ひび割れのない管台に対する地震動の構造解析の結果を静的に適用しているだけです。ひび割れによる管台の固有周期の変化とそれに伴う応答速度のカタストロフィックな増大現象を考慮しなくて良いとする根拠はどこにあるのですか？

6．S C Cが3 mm程度まで進展しないと検出できないとすれば、検査で3 mm弱の傷を検出できないまま運転した場合に年2 mm進展するとすれば、5 mm程度まで検出されないまま運転されるおそれがあります。これは15.7mm厚の1 / 3程度までひび割れが検出されないまま進展するおそれがあるということになります。蒸気発生器細管の相次ぐ漏洩事故で、検出されない傷が1年間で貫通した事実が明らかにされており、管台でのこの危険性は現実的です。5 mm程度まで傷が進展していても、安全だという根拠はどこにあるのですか？HP資料の「b．判定基準」の がその根拠になるのですか？それは原発建設時に求められる技術基準と同じですか？

7．HP資料の「Q3．旧上蓋の調査はしているのか？」における管台切り出し調査での被ばく線量を教えて下さい。また、旧上蓋周辺の放射線の線量率を教えて下さい。切り出した管台は上蓋の一番端に位置していますが、デービスベッセでは中央付近の管台がひび割れていました。温度の高い上蓋中央付近の管台を切り出して調査しなければ、保全対策の妥当性は判断できないと思われませんが、いかがですか？

8．高浜2号機の旧上蓋の切り出し調査の中で、わずかな肌荒れ（深さ約0．25 mm）を「亀裂の卵」と説明されました。これが、将来応力腐食割れを起こすものであり、上蓋取り替えは、適切であったと理解して良いのですか？

9．高浜2号機の旧上蓋の切り出しは、1本だけしか調査していません。すべての管台部を切り出し、調査研究すべきであると考えますが、なぜ1本だけで充分だと判断されたのですか？

10．「神戸市での1993年4月23日の説明会では、上蓋管台部の検査をしているにもかかわらず、かくしていたのか？」の質問に、「当時の資料が残っていないため、事実関係を確認することが出来ませんでした。」と、回答しました。そのとき神戸での説明会の記録をお渡ししました。この記録を読まれて改めてお聞きします。上蓋管台部の検査をしていながら、それを私たちに隠したのですか？